

J リーグが市街地環境に与える効果に関する一考察 ～大宮アルディージャの本拠地に着目して～

日大生産工(学部) ○樋口 幹太 日大生産工 永村 景子
日大生産工(院) 大森 真央

1. 研究の背景・目的

現在の日本では、人口減少や少子高齢化に悩む多くの自治体が存在する。そこで健康増進や市民間交流といった効果を期待し、スポーツを活かしたまちづくりに取り組む自治体が増加傾向にある。本稿では地域密着の理念を掲げチーム運営を行う J リーグに着目し、プロスポーツが本拠地周辺市街地環境に与える効果について評価、考察することを目的とした。具体的には大宮アルディージャの本拠地である JR 大宮駅周辺を対象とする。

2. 研究対象地

研究では、埼玉県さいたま市大宮区にある「JR 大宮駅」から、大宮アルディージャのホームスタジアムである NACK5 スタジアム大宮までの市街地を研究対象地とする(図-1)。ホームスタジアム周辺地域には、商業施設や娯楽施設などが多く存在する商店街となっている。サッカー観戦客などが与える様々な波及効果が、市街地へと広がっている。

3. さいたま市のスポーツまちづくり

(1) さいたま市概況と J リーグ本拠地

埼玉県さいたま市は、埼玉県南部に位置する同県の県庁所在地であり、政令指定都市である。人口は 129 万人であり、全国で 9 番目に多い。2001 年 5 月 1 日に、浦和市、大宮市、与野市が合併し「さいたま市」が誕生、2005 年 4 月 1 日に岩槻市を編入した。本市は大宮アルディージャに加え、浦和レッズの



図-1 研究対象地

本拠地でもあり、同市に複数の J リーグチームが本拠地を構える、世界的にも珍しい地域である。

(2) 大宮区におけるスポーツのまちづくり

埼玉県さいたま市の中西部に位置し、さいたま市を構成する 10 区のうちの 1 つである。大宮区は、大宮アルディージャのホームスタジアムである「NACK5 スタジアム大宮」が存在する地域である。本スタジアムに加え、野球場や競輪場が存在するなど、スポーツ施設が充実している地域である。

4. J リーグによるホームタウン活動

(1) J リーグ規約にみる地域貢献

J リーグでは「地域に根差したスポーツクラブ」を目指しており、ホームタウンの住民・行政・企業が三位一体となった支援体制をとっている。これは J リーグ規約第 21 条「J クラブのホームタウン（本拠地）」第 2 項には、「J クラブはそれぞれのホームタウンにおいて、地域社会と一体となったクラブづくり（社会貢献活動を含む）を行い、サッカーをはじめとするスポーツの普及および振興に努めなければならない。」に基づくものである¹⁾。

(2) 大宮アルディージャについて

埼玉県さいたま市に本拠地を構える J リーグ所属クラブである。母体であるクラブは大宮区に本社及びクラブハウスを構える「エヌ・ティ・ティ・スポーツコミュニティ(株)」である。①プロサッカークラブの経営、②サッカー、その他の各種スポーツ競技の興行及びその仲介、③サッカー等の選手の養成及びコンサルティング、④その他の関連業務、を主な業務内容としている。「スポーツを通じて夢と感動をわかち合える、より良い地域社会の実現に貢献します。」をクラブ理念に掲げている²⁾。トップチームは、1999 年に J リーグへ参入した。

(3) クラブチームによる地域活動

大宮アルディージャが行う地域活動は、①本拠地・周辺商店街振興活動への協力、②地域イベントへの参加、③地元公共機関との連携、④ホームゲームでの地元 PR、の大きく 4 つに分類できる。

Research on the Effect of Japanese Professional Football Team
which Based in Omiya Ward on the Home Area

Kanta HIGUCHI, Keiko NAGAMURA and Mao OMORI



図-2 バナー広告(文献2)より転載)

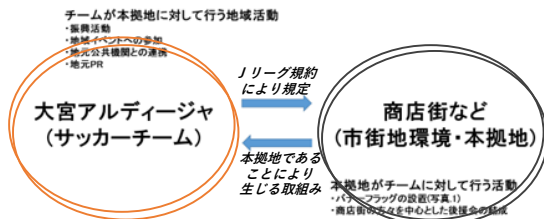


図-3 本拠地と市街地環境の関係概念図

表-1 大宮区商店街リスト

大宮区商店街リスト	
天沼商工親交会	大宮西口商店街協同組合
大宮仲仙道中央商店協同組合	浅間町商工振興会
大宮東栄会	住吉通り商店会
大宮中央通り商店街広小路会	すすらん通り正栄会
大宮スカイビル商店会	下町商工振興会
大宮銀座商店街協同組合	大宮東口駅前通り新昭栄会
大宮北銀座協栄会	大宮平和通り商店会
大宮吉敷町商工振興会	北袋町商工親和会
大宮桜盛会	さいたま新都心駅東口中山道商店会
一の宮商店会	桜木親交会
ウエストサイドストリート商店会	宮町大栄会
大成三丁目商工会	宮町栄栄会
大成町2丁目商工親栄会	ファンキー横丁商店会
大宮一番街商店街協同組合	氷川本通り商店会
大門町商店会	中央通り新栄会



写真-1 商店街に掲げられた旗(筆者撮影)

とりわけ①については、大宮商店街連合会が主催し、大宮アルディージャ・アルディージャ後援会が協力する取組みであり、ホームゲーム観戦チケットやファンクラブ会員証の提示により、提携店舗がサービスを提供する「ある得ショップ」がある(図-2)。試合観戦のためスタジアムを訪れる観戦客の流れを、周辺商店街に誘導する取組みといえる。

さらに周辺商店街には、クラブチームが配布したバナーフラッグが多数掲げられ、ホームタウンとして設える景観形成にも積極的である。このようなクラブチームによる地域活動は一方通行にとどまらず、本拠地であることにより生じている商店街の取組み

が見て取れる。本研究は、このような商店街からクラブチームに対して行っている貢献活動・応援体制について、現地での踏査およびクラブチーム関係者や商店街関係者へのヒアリング調査などにより明らかにする。これらの結果をふまえ、商店街が行う様々な貢献活動が、市街地環境に与える効果を明らかにする(図-3)。

5. 本拠地商店街の環境づくり

(1) 本拠地商店街について

大宮区には30の商店会が存在する³⁾(表-1)。これら商店会はすべて「大宮商店街連合会」に所属している。中でも、①大宮駅東口駅前通り新昭栄会、②一の宮商店会、③住吉通り商店会の3つの商店会は、バナーフラッグの設置や、チーム主催イベントへの積極的な参加など、様々な形でチームへの貢献・応援を行っている事や、「ある得ショップ」という、ホームゲームの半券やファンクラブ証の提示で様々なサービスを受けることができる店舗が並んでいる。

(2) 調査対象商店街各商店会の貢献活動

① 大宮駅東口駅前通り新昭栄会；各店舗に試合開催告知ポスターを掲示するなどしている。掲示店舗には選手が出向いてサインを書くなど、試合のみならず店舗にも人が集まるよう、クラブチームと店舗による連携がみられる。また、「ある得ショップ」も多く存在する。

② 一の宮商店会；ひときわ多くの旗が掲げられ、視覚的にもホームタウンであることがわかる商店街である(写真-1)。クラブチームが配布するバナーフラッグのみでなく、商店会が独自に作成・設置したフラッグが掲げられている。ある得ショップも軒を連ねている。

③ 住吉通り商店会；グルメやショッピング、美容など様々な「ある得ショップ」が軒を連ねる。ある得ショップの数は、すべての商店会の中で一番多い。

6. おわりに

本稿では、研究の背景・目的を示すとともに、さいたま市大宮区を対象に、クラブチームと地元商店街の2者の貢献活動について述べた。講演時には、主に商店街による貢献活動が市街地環境に与える効果について、調査の結果や分析、および考察を述べることとする。

「参考文献」

- 1) Jリーグ規約 <https://www.jleague.jp/>
- 2) 大宮アルディージャ HP <https://www.ardija.co.jp/>
- 3) 大宮商店街ガイドマップ <http://omiya-map.jp/>